

NEWS RELEASE

2026年3月6日

くるり初のフルオーケストラ公演が東京・京都で開催決定！
ロックとクラシックの境界線が溶け合うプレミアムなステージ



ビルボードジャパン(株式会社阪神コンテンツリンク)は、【billboard classics QURULI Premium Symphonic Concert 2026】の開催を決定した。

古今東西の音楽を柔軟に取り入れ、多彩な楽曲を世に送り出してきたくるり。岸田繁が生み出す純粹かつ叙情的な楽曲群と、佐藤征史が紡ぐ唯一無二のグルーヴは、時代やジャンルを越えて多くの人の魂を揺さぶり続けている。

今年の秋、結成30周年という節目を迎えるくるりが挑むのは“初”となるフルオーケストラとの共演。指揮にはクラシックからポップスまで縦横無尽な活躍を見せる高井優希を迎え、珠玉の楽曲の数々が重厚で色彩豊かなオーケストラサウンドと共に再構築され、新たな景色を描き出す。

本公演は東京・渋谷のBunkamura オーチャードホール、そして二人の故郷・京都が誇るクラシック音楽の殿堂、京都コンサートホールの2会場で開催。東京フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団という東西を代表するプロフェッショナルな楽団と共鳴し、ロックとクラシックの境界線が溶け合う特別なステージが実現する。

くるりというバンドの音の旅路を辿り、その「現在地」と「未来」を示す本公演は、かけがえのない音楽体験となるだろう。

◎公演情報

billboard classics QURULI Premium Symphonic Concert 2026

<開催日時・会場>

【東京】2026年8月30日(日) Bunkamura オーチャードホール 開場 17:00 開演 18:00

【京都】2026年9月5日(土) 京都コンサートホール 大ホール 開場 17:00 開演 18:00

<出演>

くるり

指揮：高井優希

管弦楽：【東京】東京フィルハーモニー交響楽団 【京都】日本センチュリー交響楽団

<編曲監修>山下康介

<チケット> 全席指定 12,000円(税込) ※特製プログラム付き

チケット販売スケジュール：

くるりオフィシャルサポーターズクラブ「純情息子」(年会費コース) 最速先行(抽選) 2026年3月6日(金) 18:00～3月15日(日) 23:59

ビルボードライブ「Club BBL」会員先行(抽選) 2026年3月18日(水) 12:00～3月22日(日) 23:59

くるりオフィシャルサポーターズクラブ「純情息子」(月会費・年会費コース) 先行(抽選) 2026年3月18日(水) 12:00～3月22日(日) 23:59

くるりオフィシャルHP・SNS 先行(抽選) 2026年3月25日(水) 12:00～3月29日(日) 23:59

イープラス独占先行(抽選) 2026年4月1日(水) 12:00～4月5日(日) 23:59

<公演公式サイト> <https://billboard-cc.com/quruli2026>

主催：ビルボードジャパン(阪神コンテンツリンク)

企画制作：ビルボードジャパン、ノイズ・マッカートニー

後援：米国ビルボード、【東京】J-WAVE

<注意事項>

※枚数制限：おひとり様最大4枚まで

※未就学児入場不可

※車椅子をご利用のお客様は、お問合せ先までご連絡ください。

※チケットはおひとり様1枚必要となります。チケットを紛失された方、または当日お忘れになった方はご入場できません。

※必ず公式サイトに掲載の注意事項をご確認の上、チケットをお求めください。

(ご来場のお客様へのお願い：<https://billboard-cc.com/notice>)

<公演に関するお問合せ>

【東京】HANDS ON ENTERTAINMENT info@handson.gr.jp (10:00～18:00/土日祝休)

【京都】キョードーインフォメーション 0570-200-888 (12:00～17:00/土日祝休)

ビルボードクラシックス

billboard
-CLASSICS-

音楽ファンに最高の音楽と新しい体験を届けるため、ビルボードジャパンが2012年にスタートしたコンサートシリーズ。「アーティストの音楽を最高のかたちで届けること」をミッションに、全国の音楽専用ホール等でこれまでに500以上の公演を開催している。

【添付資料】 出演者プロフィール

くるり



1996年、立命館大学（京都市北区）の音楽サークル「ロック・コミュニケーション」にて結成。古今東西さまざまな音楽に影響されながら、旅を続けるロックバンド。岸田繁（Vo, Gt）、佐藤征史（Ba, Vo）。1998年10月にシングル『東京』でメジャーデビュー。以後、メンバーチェンジを経て、2026年に結成30周年を迎える現在も、岸田繁と佐藤征史の2人を中心に活動中。2月に15枚目のオリジナルアルバム『儂くも美しき12の変奏』をリリースした。また、岸田は作編曲家として管弦楽曲や映像のための音楽も数多く手がけ、広上淳一指揮・京都市交響楽団により「交響曲第一番」「交響曲第二番」が初演されるなど、クラシック音楽への造詣も深い。

公式サイト：<https://www.quruli.net/>

高井優希（指揮）



東京藝術大学指揮科およびライブツィヒ・メンデルスゾーン音楽演劇大学指揮科卒業。ウルリッヒ・ヴィントフル、田中良和に師事。2015年ルーマニア黒海（ブラック・シー）指揮コンクール優勝。札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、琉球交響楽団、コンスタンツァ国立歌劇場管弦楽団、ローマ・イタリア管弦楽団を指揮。2019年度山田貞夫音楽賞特選。2020年度セントラル愛知交響楽団アソシエイト・コンダクター。武蔵野音楽大学非常勤講師。東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。

©Masaaki Hiraga

東京フィルハーモニー交響楽団



1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。国民的番組『NHK 紅白歌合戦』『クラシックTV』のほか2020～21年には『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組にも登場。1989年より

Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

©Takafumi Ueno

公式サイト：<https://www.tpo.or.jp/>

日本センチュリー交響楽団



街に響く。心に届く。

1989年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。2025年4月より久石譲が音楽監督に就任、名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会に加え、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」(2026年度より「とよなかシンフォニックシリーズ」を始動)を開催。教育プログラムや地域連携事業にも力を入れ、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間200回を超える公演を行っている。飯森範親指揮「ハイドン交響曲集 Vol.1」(他複

数)等がレコード芸術特選盤に選出、大阪府文化祭奨励賞受賞(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。「伝統と革新～未来をつなぐ音楽を～」をスローガンに掲げ、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。

©井上嘉和

公式サイト：<https://www.jcso.or.jp>

山下康介 (編曲監修)



東京音楽大学作曲専攻「映画・放送音楽コース」(現ミュージック・メディアコース)卒業。

映画「花筐/HANAGATAMI」「この空の花」などで知られる大林宣彦監督作品に多く携わったほか、NHK連続テレビ小説「瞳」やドラマ「花より男子」、アニメ「ちはやふる」「ドラゴンボール DAIMA」、「仮面ライダーセイバー」、スーパー戦隊シリーズ「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」、歴史シミュレーションゲーム「信長の野望」シリーズなどの音楽がある。

また編曲家として「題名のない音楽会」などの放送用編曲をはじめ、billboard classics などオーケストラのためのコンサート用編曲を多数手がけている。現在、洗足学園音楽大学教授、東京音楽大学特任教授。一般社団法人日本作編曲家協会

(JCAA) 理事。静岡いわた PR 大使。©Tatsuya Ito